



建設機械等による災害対処・復旧支援に関する懇談会設置

国土交通省総合政策局建設施工企画課・社団法人日本建設機械化協会研究調査部

国土交通省と社団法人日本建設機械化協会では、地震、水害、雪害などの災害発生時に建設機械等によって適切な災害対処・復旧支援を行うための懇談会を設置する。

ここでは、災害復旧に実際関わったボランティアや有識者の意見を踏まえ、災害復旧時の協力体制や機械の運用体制、組織の連携方法及び緊急時に必要な機械の有効活用方法などを検討する。

1. 建設機械等による災害対処・復旧支援に関する懇談会の目的

国土交通省と社団法人日本建設機械化協会では、「災害対処・復旧支援懇談会」（座長 河田恵昭京都大学防災研究所長）を設置する（表-1）。本懇談会の目的、目標、実施内容は以下のとおりである。

（1）懇談会の目的

災害発生直後の緊急対応について、減災、二次災害の防止、迅速な復旧等のための活動を地域と連動して行うために、被災した地方自治体、ボランティアグループ、専門業者等からの情報を収集したうえで、過去に発生した災害時において建設機械の利用等で困窮した問題点を抽出・分析し、今後、適切かつ円滑な災害対応活動を可能とするために必要となる建設機械等とその有効な利用、官民の役割分担等の技術資料を作成し、政策提言の基礎資料とする。

（2）懇談会の目標

- ①災害対策に従事した経験者を通じて課題等を整理し、災害時のニーズを取りまとめる。
- ②災害時に活用可能な専門業者の技術力を取りまとめる。
- ③建設機械施工にかかわる支援のための連携体制・情報交流の提案。
- ④有効な災害対策用機械の活用方策の提案。

（3）懇談会の実施内容

- ①災害現場でのニーズと、技術面もしくは運用面での対策を整理する。

②災害発生時の「防災」「減災」「復旧」、各場面設定などを通じて、以下の項目を明らかにする。

- ・適切かつ円滑な災害対応活動を可能にするために必要となる建設機械等とその利用体制
- ・官民の役割分担
- ・建設機械の手配もしくは、必要に応じて国による保持の検討

表-1 災害対処・復旧支援懇談会委員（順不同）

座長	河田 恵昭	京都大学防災研究所所長
委員	荒井 敏彦	(社)全国機械器具リース業協会会長
委員	稲垣 文彦	中越復興市民会議事務局長
委員	久住 時男	新潟県見附市長
委員	黒澤 司	日本財団公益・ボランティア支援グループグループ長
委員	鈴木 章悦	建設無人化施工協会会長
委員	中貝 宗治	兵庫県豊岡市長
委員	細川かをり	福井災害ボランティアネットワーク副理事長
委員	山下 哲男	全国コンクリートカッター工事業協同組合理事長
委員	山田 透	(社)日本建設機械化協会製造業部会幹事長
委員	村松 敏光	国土交通省総合政策局建設施工企画課長
委員	関 克己	国土交通省河川局治水課長
委員	宮本 博司	国土交通省河川局防災課長
委員	鈴木 克宗	国土交通省道路局国道・防災課長
委員	望月 達也	国土交通省北陸地方整備局企画部長
事務局	国土交通省総合政策局建設施工企画課/社団法人日本建設機械化協会	

2. 今後の予定

委員会の開催は2006年7月から表-2のとおり予定である。

表-2 委員会開催予定

第1回	ボランティアから見た災害現場の課題について
第2回	行政の対策対応状況と課題
第3回	業界団体の対応事例と意見
第4回	学識経験者からの意見及び国土交通省の体制と課題について
第5回	取りまとめ

本懇談会では、災害ボランティアや災害支援活動に関わった有識者、専門業者及び学識経験者から毎回、基調となる話題を提供していただき、討論、意見交換を進めることとしている。その検討結果を踏まえ、最終的に建設機械等による災害対処復旧支援のあり方について取りまとめる予定である。